

2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年10月31日

上場会社名 小田急電鉄株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9007 URL <https://www.odakyu.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 星野 晃司 (TEL) 03 (3349) 2526
 問合せ先責任者 (役職名) IR室長 (氏名) 石黒 徹 配当支払開始予定日 2019年12月2日
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	261,766	1.7	25,657	△12.9	24,907	△13.4	16,598	△13.2
2019年3月期第2四半期	257,307	1.0	29,450	△2.7	28,749	△1.0	19,123	△0.4

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 14,021百万円 (△41.5%) 2019年3月期第2四半期 23,970百万円 (10.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	46.07	—
2019年3月期第2四半期	53.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,334,004	399,165	29.4
2019年3月期	1,312,433	389,180	29.1

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 392,171百万円 2019年3月期 382,383百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	10.00	—	11.00	21.00
2020年3月期	—	11.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	547,800	4.0	50,000	△4.0	47,800	△3.8	32,500	0.1	89.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	368,497,717株	2019年3月期	368,497,717株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	8,228,693株	2019年3月期	8,225,319株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	360,271,296株	2019年3月期2Q	360,417,004株

(注) 自己株式に含めている役員報酬信託口が保有する当社株式数は以下のとおりです。

2020年3月期第2四半期:165,800株 2019年3月期:165,800株

※ 四半期決算短信は公認会計士または監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想は、現時点で得られた情報に基づいて算定しています。したがって、実際の業績は業況の変化等により記載の予想とは異なる場合があります。

業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

(決算説明会内容の入手方法について)

当社は、2019年11月8日に機関投資家・アナリスト向け決算説明会を開催する予定です。

この説明会で使用する資料は、同日、TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

(参考) 2020年3月期の個別業績予想 (2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	175,800	1.1	40,000	△3.4	38,400	△1.4	26,700	2.8	73.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)は、流通業で減収となった一方、それ以外の事業で増収となったことから、営業収益は261,766百万円(前年同期比1.7%増)となりました。

一方、運輸業等において費用が増加したことから、営業利益は25,657百万円(同12.9%減)となったほか、経常利益は24,907百万円(同13.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は16,598百万円(同13.2%減)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

① 運輸業

運輸業では、当社の鉄道事業において、複々線化効果等により定期・定期外ともに輸送人員が増加したことに加え、消費税の増税による先買いの影響がありました。

以上の結果、営業収益は91,364百万円(前年同期比1.7%増)、営業利益は、当社の鉄道事業において減価償却費等の費用が増加したことから、17,564百万円(同4.9%減)となりました。

(当社鉄道事業運輸成績表)

種別		単位	当第2四半期連結累計期間 (2019.4.1～2019.9.30)	
				対前年同期 増減率(%)
営業日数		日	183	0.0
営業キロ		キロ	120.5	0.0
客車走行キロ		千キロ	95,802	△0.7
輸送人員	定期	千人	253,144	4.2
	定期外	〃	150,731	3.0
	計	〃	403,875	3.7
旅客運輸収入	定期	百万円	25,265	4.2
	定期外	〃	36,412	2.1
	計	〃	61,678	3.0
運輸雑収		〃	1,891	2.4
運輸収入合計		〃	63,570	3.0
乗車効率		%	47.5	—

(注) 乗車効率の算出方法

$$\text{乗車効率} = \text{延人キロ (駅間通過人員} \times \text{駅間キロ程)} \div (\text{客車走行キロ} \times \text{平均定員}) \times 100$$

② 流通業

流通業では、百貨店業において、(株)小田急百貨店町田店および藤沢店におけるリニューアルに伴う売場面積減少等により減収となりました。

以上の結果、営業収益は103,270百万円(前年同期比3.2%減)、営業利益は1,797百万円(同23.9%減)となりました。

③ 不動産業

不動産業では、不動産分譲業において、販売戸数が増加したことや、不動産賃貸業において、新規に開業した物件の収入が寄与したことなどにより増収となりました。

以上の結果、営業収益は30,775百万円(前年同期比7.0%増)、営業利益は、当社の不動産賃貸業において新規物件の取得による費用等が増加したことから、4,500百万円(同29.7%減)となりました。

④ その他の事業

その他の事業では、前期末に(株)ヒューマニックを連結子会社化したことに加え、ホテル業において、新規に開業した物件の収入が寄与したことなどにより増収となりました。

以上の結果、営業収益は54,109百万円(前年同期比10.1%増)、営業利益は、ホテル業において新規物件の開業費用等が増加したことから、1,764百万円(同16.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が増加したことなどから、1,334,004百万円(前連結会計年度末比21,571百万円増)となりました。

負債の部は、有利子負債が増加したことなどから、934,839百万円(同11,585百万円増)となりました。

純資産の部は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことなどから、399,165百万円(同9,985百万円増)となりました。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

当期の連結業績予想は、第2四半期までの業績等を踏まえ、2019年4月26日に公表した業績予想を変更しています。

営業収益は5,478億円(前期比4.0%増)と、運輸業や流通業等で前回公表時の想定を下回ることを見込み、従来予想から100億円下方修正しており、営業利益は500億円(同4.0%減)と、25億円下方修正、経常利益は478億円(同3.8%減)と、16億円下方修正、親会社株主に帰属する当期純利益は325億円(同0.1%増)と、5億円下方修正しています。

セグメント別の詳細は、別途開示しています「2020年3月期第2四半期決算説明資料」をご参照ください。
 ※業績予想は、現時点で得られた情報に基づいて算定しています。したがって、実際の業績は業況の変化等により記載の予想とは異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	21,762	23,954
受取手形及び売掛金	25,788	26,826
商品及び製品	6,502	6,855
分譲土地建物	32,855	37,938
仕掛品	849	1,644
原材料及び貯蔵品	2,246	2,441
その他	39,698	41,644
貸倒引当金	△100	△101
流動資産合計	129,601	141,204
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	489,212	490,284
機械装置及び運搬具(純額)	51,312	53,061
土地	462,178	467,451
建設仮勘定	26,517	30,707
その他(純額)	12,465	12,748
有形固定資産合計	1,041,686	1,054,253
無形固定資産		
のれん	3,856	2,906
その他	20,298	19,913
無形固定資産合計	24,155	22,819
投資その他の資産		
投資有価証券	91,613	89,953
その他	26,358	26,778
貸倒引当金	△981	△1,005
投資その他の資産合計	116,990	115,726
固定資産合計	1,182,831	1,192,799
資産合計	1,312,433	1,334,004

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,865	23,399
短期借入金	201,440	212,024
1年以内償還社債	30,040	20,040
未払法人税等	7,037	8,073
前受金	3,050	3,617
賞与引当金	8,124	8,011
商品券等引換引当金	1,370	1,414
その他の引当金	68	78
資産除去債務	2	—
その他	106,387	99,481
流動負債合計	383,386	376,142
固定負債		
社債	150,050	180,030
長期借入金	229,038	222,979
鉄道・運輸機構長期未払金	88,660	84,153
退職給付に係る負債	18,185	18,032
資産除去債務	1,361	1,408
その他	52,570	52,093
固定負債合計	539,866	558,697
負債合計	923,253	934,839
純資産の部		
株主資本		
資本金	60,359	60,359
資本剰余金	58,472	58,470
利益剰余金	239,148	251,760
自己株式	△10,982	△10,991
株主資本合計	346,997	359,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,875	31,180
土地再評価差額金	548	548
退職給付に係る調整累計額	961	842
その他の包括利益累計額合計	35,385	32,571
非支配株主持分	6,796	6,994
純資産合計	389,180	399,165
負債純資産合計	1,312,433	1,334,004

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業収益	257,307	261,766
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	184,070	188,524
販売費及び一般管理費	43,786	47,583
営業費合計	227,857	236,108
営業利益	29,450	25,657
営業外収益		
受取利息	3	5
受取配当金	1,010	947
持分法による投資利益	921	901
雑収入	1,055	1,114
営業外収益合計	2,991	2,968
営業外費用		
支払利息	3,029	2,701
雑支出	662	1,017
営業外費用合計	3,692	3,718
経常利益	28,749	24,907
特別利益		
固定資産売却益	300	650
工事負担金等受入額	395	842
その他	4	7
特別利益合計	701	1,500
特別損失		
固定資産売却損	21	41
固定資産圧縮損	381	835
固定資産除却損	1,626	754
その他	155	63
特別損失合計	2,185	1,694
税金等調整前四半期純利益	27,265	24,712
法人税、住民税及び事業税	7,423	7,577
法人税等調整額	338	299
法人税等合計	7,762	7,877
四半期純利益	19,502	16,835
非支配株主に帰属する四半期純利益	378	236
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,123	16,598

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	19,502	16,835
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,595	△2,678
退職給付に係る調整額	△84	△117
持分法適用会社に対する持分相当額	△42	△17
その他の包括利益合計	4,468	△2,813
四半期包括利益	23,970	14,021
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,589	13,784
非支配株主に係る四半期包括利益	381	237

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
営業収益							
外部顧客への営業収益	88,450	105,019	25,868	37,968	257,307	—	257,307
セグメント間の内部営業収益 または振替高	1,408	1,641	2,890	11,169	17,110	△17,110	—
計	89,859	106,661	28,759	49,138	274,418	△17,110	257,307
セグメント利益	18,478	2,361	6,399	2,114	29,353	96	29,450

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、以下の事業セグメントを含んでいます。

ホテル業、レストラン飲食業、旅行業、ゴルフ場業、鉄道メンテナンス業、ビル管理・メンテナンス業、広告代理業、園芸・造園業、経理代行業、保険代理業および企画設計・運営業

2 セグメント利益の調整額96百万円は、セグメント間取引消去112百万円およびのれん償却額△15百万円です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	その他の 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
営業収益							
外部顧客への営業収益	89,999	101,683	27,765	42,317	261,766	—	261,766
セグメント間の内部営業収益 または振替高	1,364	1,587	3,010	11,791	17,753	△17,753	—
計	91,364	103,270	30,775	54,109	279,520	△17,753	261,766
セグメント利益	17,564	1,797	4,500	1,764	25,626	30	25,657

(注) 1 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、以下の事業セグメントを含んでいます。

ホテル業、レストラン飲食業、旅行業、ゴルフ場業、鉄道メンテナンス業、ビル管理・メンテナンス業、広告代理業、経理代行業、保険代理業、企画設計・運営業および人材派遣業

2 セグメント利益の調整額30百万円は、セグメント間取引消去です。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。